

重要取組シート

建設局 道路部 道路計画課

取組項目		都市計画道路の整備
現状・課題		【現状】 本市の都市計画道路の計画総延長は約 275.9km である。整備状況については、令和 4 年 9 月に新家日置荘線（約 0.4 km）を供用開始したため、令和 4 年度末現在、整備済路線延長は約 204.1 km、整備率は約 74.0%、事業中路線延長は約 14.7 km となっている。また、未整備区間については、堺市都市計画道路整備プログラム（平成 28 年 6 月策定）により、優先整備の考え方や事業着手時期を示している。 【課題】 ○未整備区間（ミッシングリンク）が残っているため、整備済みの路線に期待される通行・空間機能が十分に発揮されず、ミッシングリンクの早期整備が必要である。 ○都市計画道路事業は、土地の境界確定や用地取得など時間を要する事業であり、限りある財源のもと、早期の効果発現を図るため効果的かつ効率的に事業を進める必要がある。
取組の内容		事業中路線については、工事着手できるよう用地買収や設計業務に取り組む中で、早期の効果発現に有効な先行整備を進める。また、事業の進捗度や最新の交通量データを踏まえ、堺市都市計画道路整備プログラムの見直しの精査を行う。 【事業中路線】 南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）、大阪河内長野線（八下地区）、出島百舌鳥線、草尾南野田線、大阪和泉南線、常磐浜寺線、大阪河内長野線（北野田地区）、錦浜寺南町線、諏訪森神野線（浜寺・浜寺東地区） など
スケジュール	前期 （～7 月）	☐ 事業中路線の用地買収の推進（4 月～令和 6 年 3 月） （南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）、大阪河内長野線（八下地区）、大阪河内長野線（北野田地区）、出島百舌鳥線など） ☐ 道路詳細設計業務の継続実施（南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）） ☐ 橋梁予備設計業務発注（錦浜寺南町線） ☐ 将来交通量予測の業務発注（整備プログラムの見直しの精査）
	中期 （～11 月）	☐ 用地境界測量業務発注（大阪河内長野線（北野田地区））
	後期 （～3 月）	☐ 道路整備工事発注（大阪河内長野線（八下地区）、草尾南野田線） ☐ 道路詳細設計業務の完了（南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）） ☐ 将来交通量予測などの分析（整備プログラムの見直しの精査）
	次年度以降	☐ 大阪河内長野線（八下地区）、草尾南野田線の事業完了 ☐ 堺市都市計画道路整備プログラムの見直し公表
進捗の状況	前期 （～7 月）	☐ 事業中路線の用地買収の推進（4 月～） （南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）、大阪河内長野線（八下地区）、大阪河内長野線（北野田地区）、出島百舌鳥線など） ☐ 道路詳細設計業務の継続実施（南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）） ☐ 橋梁予備設計業務発注（錦浜寺南町線）（4 月） ☐ 将来交通量予測の業務発注（6 月）

(様式 4)

	中期 (～11 月)	☐ 用地境界測量業務発注（大阪河内長野線（北野田地区））（9 月）		
	後期 (～3 月)	☐ 道路整備工事発注に向け関係機関協議を継続（大阪河内長野線（八下地区））（3 月） ☐ 道路整備工事の発注準備（草尾南野田線）（3 月） ☐ 道路詳細設計業務の完了（南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区））（3 月） ☐ 将来交通量予測の結果を踏まえ、堺市都市計画道路整備プログラムの精査を継続（3 月）		
2025 堺市基本計画	該当する 施策	5－（2）都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築		
	寄与する KPI	—	目標値（2025 年度）	
			—	
未来 堺市SDGs 都市計画	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号	住み続けられるまちづくりを	
		11		
	寄与する KPI	—	目標値（2023 年度）	
			—	

重要取組シート

建設局 道路部 連続立体推進課

取組項目		連続立体交差事業の推進（南海本線・高野線）	
		南海本線	高野線
現状・課題		【現状】 - 事業期間：平成18年度～令和9年度 - 全体事業費：約423億円 （残事業費約193億円） （うち市費175億円、残市費84億円） - 用地取得状況：R4.3月末現在で約99%（事業区域内は残1件） 【課題】 - 効率的な鉄道工事の推進、事業費の平準化 - 長期にわたる事業、本格的な高架工事に伴う沿道住民、地元関係者との調整、対応 - 阪堺線移設に伴う跡地活用検討、調整	【現状】 - 事業期間：令和4年度～令和19年度 - 全体事業費：約565億円 （うち市費約234億円を予定） - 事業に必要となる用地の筆数：約500筆 【課題】 - 効率的な鉄道工事の推進と事業費の平準化 - 事業に必要となる用地の計画的な取得 - 共同事業者となる南海電気鉄道との役割分担、及び費用負担協議 - 鉄道事業者との基本協定締結
取組の内容		- 鉄道事業者と連携し、事業進捗管理を行う。 - 仮線工事、一部区間の高架工事の推進。 - 阪堺電軌と阪堺線移設に関する基本協定を締結し、移設工事に着手。 - 鉄道事業者と連携し、地域住民への丁寧な周知・説明。 - 阪堺線跡地活用に関する関係者との継続した意見交換。	- 鉄道事業者と連携し、事業進捗管理を行う。 - 沿線住民等に対し事業概要を広く周知し、事業用地の権利者等に対して各々の事情に配慮した丁寧な個別説明を行う。 - 事業が経済的で効率的に進む役割分担、及び費用負担の協議を進める。 - 鉄道工事着手に向けた鉄道事業者との基本協定を締結する。
スケジュール	前期 （～7月）	☐ 関係機関協議、地元説明（4～3月） ☐ 鉄道仮線工事（南海施工：4～3月） ☐ 鉄道高架工事（南海施工：4～3月）	☐ 用地交渉（4～3月） ☐ 測量、物件調査業務（4～3月） ☐ 鉄道事業者との協議（4～3月）
	中期 （～11月）	☐ 阪堺線移設に関する認可（10月） ☐ 阪堺線移設基本協定締結（10～11月）	☐ 基本協定を締結（9月）
	後期 （～3月）	☐ 阪堺線移設工事（阪堺施工：12～3月）	
	次年度以降	☐ 鉄道工事（仮線、高架、阪堺線移設） ☐ 鉄道事業者との用地交換処理	☐ 事業用地取得 ☐ 工事着手
進捗の状況	前期 （～7月）	☐ 関係機関協議、地元説明（4月～） ☐ 鉄道仮線工事（南海施工：4月～） ☐ 鉄道高架工事（南海施工：4月～）	☐ 用地交渉（4月～） ☐ 測量、物件調査業務（4月～） ☐ 鉄道事業者との協議（4月～）
	中期 （～11月）		☐ 基本協定を締結（10月）

(様式4)

	後期 (～3月)	☐ 関係機関協議、地元説明 (～3月) ☐ 鉄道仮線工事 (南海施工：～3月) ☐ 鉄道高架工事 (南海施工：～3月) ☐ 阪堺線移設に関する認可 (12月) ☐ 阪堺線移設基本協定締結 (3月) ☐ 阪堺線移設工事 (阪堺施工：3月)	☐ 用地交渉 (～3月) ☐ 測量、物件調査業務 (～3月) ☐ 鉄道事業者との協議 (～3月)
2025 堺市基本計画	該当する 施策	5ー(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
	寄与する KPI		目標値(2025年度)
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを
	寄与する KPI		目標値(2023年度)